

ついて、どのような内容なのか。

**答** 乳がんについては40歳の方を対象に、集団検診、個別検診を無料にし、肺がん、胃がんについては40歳、45歳、50歳の方を対象に集団検診、個別検診を無料にするものである。また、以前に乳がんと子宮がんに対して、節目の年齢の方に無料クーポン券を送付していたが、未使用の方に再度無料クーポン券を送付する事業である。

### 経済建設常任委員会

◆たつの市特定公共賃貸住宅条例の一部改正及びたつの市営住宅条例の一部改正

**問** 特定公共賃貸住宅の一部を普通市営住宅に用途変更を行うとの説明であるが、同じ建物の中で部屋によって家賃の上限額が違うのか。

**答** 同じ建物内で、普通市営住宅とする部屋と特定公共賃貸住宅として残す部屋の家賃の上限は、部屋の規模によって異なる。

◆平成26年度一般会計予算

**問** 国の緊急雇用対策事業に関連して、人材育成支援を行うとの説明であるが、具体的にどのような方法を考えているのか。

**答** 人材育成支援には、測量図の電子化業務を民間委託する事業などがあり、委託された企業においては、専門的な知識や技術を習得した人材を育成してもらい、修練を受けた方には、事業を通じて身に着けた技術や知識で次の就職につなげてもらうことで雇用の拡大や促進を図るものである。

◆平成26年度国民宿舎事業会計予算

**問** 赤とんぼ荘及び志んぐ荘の利用収益予定額について、前年度予定額と比較してそれぞれ大幅に減額しているのはなぜか。

**答** 今年度は、一般会計からの補助金を当初予算で計上しており、各荘の実数に近い利用収益を計上したため、減額となったものである。



## 一般質問

平成26年3月定例会では9名の議員が一般質問を行いました。各議員の質問の一部を要旨で掲載します。



質問者 森本 重宣議員

行政改革について

**問** 全ての市事業の棚卸しをして、事業の見直しをしてはどうか。

**答** 事業評価については、個別の事務事業の必要性や効果、効率性などを評価しているが、今後は、予算ヒアリングと連動した評価点の設定など、予算編成に活用できる事務事業評価システムの構築や、PDCAサイクルに則った事業の不断の見直しにより、計画的に廃止・縮減が必要であると考えている。

**問** 国民宿舎をどうするのか。

**答** 現在、民間企業10社から国民宿舎経営計画の提案があり、それらの提案を参考に、有識者による「国民宿舎経営改善専門委員会」において、望ましい経営形態のあり方を検討されている。今

後、その報告をもとに、市として新たな経営形態を示したい。

山陽本線竜野駅周辺整備について

**問** 竜野駅周辺の整備により、どのような地域づくりを目指すのか。

**答** 現在、竜野駅周辺地区まちづくり協議会とともに、地域の課題や問題点を洗い出し、賑わいあふれるまちづくりを目指し協議をしているが、誰もが利用しやすい駅としてさらに多くの人を呼び込むためには、南北に分断された駅へのアクセス向上を図る都市計画道路の整備、駅前広場、駐車場等を含めた駅周辺整備を実現したいと考えている。また、定住人口の増加を促進する上でも、周辺地域の有効な土地利用を図り、人々が住んでみたい、住み続けたいと実感できるまちづくりに向け、市民と行政が方向性を共有し、事業を進めることが必要と考えている。

市庁舎について

**問** 市役所庁舎の建て増しについて伺う。

**答** 平成24年10月に「庁舎建設検討委員会」から、庁舎の増築についての整備方針が示されたが、本市としては、小中学校校舎の耐震化や指龍南北幹線をはじめとした道路網整備など、市民生活に直結した事業を優先的に進めてきたところである。今後は、職員適正化計画や公共建築物ストックマネジメント計画との整合を図りながら、本市全体の公共施設のあり方を含め引き続き検討したい。

龍野の歴史に対する理解について

**問** 施政方針で龍野の歴史に触れているが、近世だけでなく中世にも目を向けてはどうか。

**答** 本市の歴史は、過去から現在に至る連続した人々の営みの蓄積であり、貴重なすべての遺産を大切にし、これを未来に伝達することこそが歴史の積み重ねであり、我々の務めであると認識している。